

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今の理念を取員等で行っている。実践に関してはまだである	○	地域に密着した環境の中で地域住民の方とふれあいを大切にしながら取組んでいく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取組んでいる	日々の申し送りの中で取員と共有している所である	○	取員の方が理念を一人一文を日々取組んで利用者に接して下さることを望みます。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取組んでいる	理念を家族の方、地域の方々に示すために説明している(一部の方々です)	○	今後家族、地域の方々に説明をして理解をしていただけよう取組んでいく。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	虹隣を利用者と共に散歩をして、畑に来ている方、道を歩いている方々にこちらから来るだけ声をかけるよう心がけている。	○	利用者の方々が外を歩いている時等利用者の方に、地域の住民の方から声をかけ、お茶を誘っていただけよう取組んでいく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	現在事業所独自で利用者と共に散歩を兼ね、地域の缶、ゴミ拾いを月2回日曜日に行っている。又市で行っているクリーン作戦にも参加している	○	これから事業所で行う行事等にも呼びかけ参加をしていただけよう努力していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	これから話し合いをしていくところ です。	○	施設の敷地を使って、ゲートボール場を作り、地域の高齢者の方と共に楽しんでいただけるよう取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	取員に説明をして、除々に取り組み始めた所です。	○	取組んで足らばい所をひとつ話し合い出来る所まで取り組む
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、開設してから開催は、1回だけであるので今後評価の取り組みを話しあっていく	○	運営推進会議は、年少はくとも2〜3回位開催して協力を得ていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	いろいろな問題は、他相談しながら一つ一つ進めている。	○	サービスの質等も相談をしながら進めていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在利用者の方で兄弟で後見人制度を進めている方もいる。	○	取員の方は、後見人制度を理解できていない方が多いので取員会議等で説明をしていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について、どの部分までか虐待が取員に説明をしていく。	○	今後、取員と共に研究しあって自分達の利用者の立場に立って常に自分の対応に間違いはなかったか反省・注意しながら進めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関し、家族の方に十分説明しているが、まだ理解されていない所は、何度も説明を重ねていく。	○	契約に関し、不安や疑問点がないよう、一項目づつ確認しながら説明を行っていく
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の方からも要望があるが又家族の方からも苦情・要望を受け市役所に苦情処理窓口があること	○	今後、管理者又は職員に、気軽に不満、苦情等を話していただける環境、雰囲気作りをする。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	広報紙をお送りし、暮らし状況を知らせしている。健康状態については、その都度状態に合わせてご連絡しております。 金銭(預かり金3万円)は毎月報告	○	初年度のため、広報紙は、2回位です。年々回発行していきたいと思えます。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の方から、意見、不満、苦情を受けることが出来るようわかるように窓口に掲示しております。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回、運営関係意見等が発言できるよう職員会議を用いている	○	今後も継続していく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	A棟B棟配置の中でユニットごと、カンファレンスを行い、利用者家族の状況について、勤務調整をしながら月1回行う。	○	今後継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	当事業所は、異動はない。 離取に関しては、説明をしてある。 現在は、いい。	○	今後も取員の方の意見・要望を聞きながら、離取される方がいよう取組んでいく。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ほかの研修に取組むこと はできた。	○	今後、全員の方に取組めるよう 図っていく。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	今年度は交流の機会はなかった。	○	19年度は、市社協が中心となり 市の中の多くの施設と、お互いに 研修を行ったり、ボウリング大会等 で交流を図ることができた。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	取員の方が少しでも休めるよう 休憩室でリラックス出来るよう 準備してある	○	今後もっと環境づくりに力 がけていく。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	取員の方の要望にも出来るだけ 答えるようにしているため、各自が 向上心を持って働いていると 思う。	○	これからも努力していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所してから環境が変わるため落ち着かず不安な状況のため、職員が常に声をかけをし、利用者の方の訴えを聞くようにしている	○ 入所してから、何ヶ月かたっては、 ^{被害妄想} があり訴えてくるためその都度自身の家族に伝えるように、やさしく温かく聴いて伝えること、繰り返し取り組んでいく。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	最大限に、家庭で介護を受けていた時のように環境を近づけて、受け止める努力をしている	○ 出来るだけ、家族、利用者の方に答えられるよう努力します。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の方が介護が限界であると相談来所の際状況に応じデサホス又は老人保健施設も紹介も勧めている。	○ 今後も、本人、家族の方の状況に応じ他のサービスも勧めたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が環境に慣れるまで体験で利用していただき入所に持っていく。日数は利用者や家族で決めていただく。	○ 利用者や他の利用者や馴染め、環境に慣れてから入所されるよう今後も勧めたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	他の利用者の方々の輪の中に入れない方には職員が冗談笑わせるような行動をすると、自分の孫に話すような言葉で、涙を流したから	○ おっと家族のような温さかい伝わる関係にしたい

お腹をかかえ、笑えるような関係の日々がある、出来る限りサポートしていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	今話をしていたことを忘れぬまで くる時否定せず、家族と職員 シェア-を交えながら納得するま で話を続けていく。	○	当面は続けていく。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会に来られる時は、いつでも 自由に窓口を広げている。 利用者の方が家族、親族に電話 をしたい時職員が連絡をとり話を聞く	○	現在の状況を大切に継続 していく。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	一部の方々ですが、友人が遊びに 来てくれ約1時間位話をしていく。 大事に見守っている所です。	○	馴染みの理容店、つりをしていた場 所等に本人の希望により連れて行く 事に取組んでいる
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	孤立しないよう声かけているが、年が 届かばい時もある。	○	かと囲まれるよう取組んでいく。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	関係が断ち切れないよう取り 組んでいく。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や意向は、本人の意見を聞き安心した生活が過せるように支援する。	○ 一方的な解釈をせず意向は必ず本人に確認する。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	以前に使っていた家具や仏壇大切にしていた物を居室に配置することにより、家度にいた時と同じように環境作りをする。	○ 利用者の価値感を理解し以前の生活環境を把握
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	安全に安心できる環境で押しつけることなく利用者中心を重視していく。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者にとって何が問題でどう解決していくか期間と状況に応じ見直しを行う新たな計画を立てる。	○ 利用者の意向や家族の要望等を取り入れ計画を見直す。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状況や関わり方によって変化が生じた場合、職員と家族と情報を共有し、充分話し合いの上で計画の変更をする。	○ 利用者の情報や気づいた事をもとに新たなケアを展開できるようにしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の様子及び変化等の記録だけとなっている。	○	今後ケアの実践の結果において介護計画等の見直し、より良いサービス提供していきたいと思っております。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の老人会との交流会 ボランティアによる利用者との交流会、を計画している所です	○	ボランティアさんからの活動の協力もあり継続していきたいと思っております。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今後建てるべく予定		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な後診には、 確実に服薬管理のもとに利用者 の体調に留意している	○	利用者の体調の変化や健康面 での心配事を相談できる関係 を持っている
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専内医との連携のもとに内服 薬の調整対応について指示を頂 いている。定期的後診を行う。	○	今後継続していく
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日々利用者の体調に留意し 異常の早期発見に努めている	○	継続していく
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中の利用者の状況を常に 把握し退院後の受け入れ体制 が確実に行えるよう医療機関 の職員と話し合の場を持っている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今後話し合いをしていく	○	今後話し合う場を設けていく
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者の別の生活に移動しても安心して生活できるように情報交換をしっかりと行う。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊敬と感謝を持った接い方に努めている。 個人的情報がわかるよう留意している	○	記録等も終わった事柄に引き上げている
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている			
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	強要せず利用者本人の判断に委ねる	○	今後の継続予定
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個性、意思を尊重し、衣類の更衣は選択していただくように努めている	○	本人の希望に添った方法で理美容室まで援助する

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理法を工夫し、利用者に合わせている。 又、食事後の後片づけも職員と利用者で行う。	○	利用者と一緒に食事作りを行い、片付けもアドバイス後、洗い物、片づけと1人の方ではなく多く
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の健康を考慮し、一日の本数を利用者と同様にしてあげていく。		の利用者で行はえるよう取り組む
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の失敗を減らす為時間を決め、声かけ誘導している	○	利用者全員が、紙パズルから布シートに切り替え、自らの力で排泄行動が出来るよう援助していく。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、利用者の体調に合わせて週3回位を目安としているが状況に応じ、他の時に行う。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者のペースに合わせて、時間の中で休息し、声かけに配慮している。	○	施設の環境に慣れ、自由のびのびと安心して生活し休息しても、夜も安眠出来るよう支援していく
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家で培って来た役割を延長として、家事、洗濯等は、職員と利用者で行う。	○	役割を得て、楽しみながら生活出来るよう他も取り組んでいく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	利用者が希望し買物等に行 く時は、本人にお金を渡し 買物はしていただいている		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	天候を見ながら毎日散歩 をしている	○	今後継続していく
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支 援している	時には、家族の方と一緒に外 出している	○	今後は、行事で見学で外に出 かける時は家族に声をかけ一緒 に同行していただく時もある。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支 援をしている	利用者の希望により、家族に電話 をしたり、手紙を書く機会を 増やして、親族の方友人に手紙を 書いて、本人が手紙を出している。	○	絵手紙の日は、毎月行っ ていく予定である
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの 人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心 地よく過ごせるよう工夫している	家族、友人の方々にいつでも 面会に来ていただき、本人とゆ っくり話が出来るよう支援 している。	○	利用者と一緒にゆったり話が 出来るよう、場所作りを取り 組んでいきたい。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束 をしないケアに取り組んでいる	再度職員会議等で確認 しあっている。	○	身体拘束を正しく理解して 取り組んでいく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由に外に出て、花や野菜に水をやり、自然に親しむことが出来るよう金鍵をかけない	○	今後引き続きする。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者のプライバシーにふれないよう声かけ、見守りをしている。	○	きめ細かに見直しをしていきたい。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている			
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	移動時の見守りしていく 誤飲に注意し利用者の食事は工夫する。 内服薬は、服用を確認する	○	事故防止のため、マニュアルを作成していく
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当、初期対応については、今後訓練をしていく	○	定期的に取組めるよう計画をしていく
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は実施している 今後地域の方々に働きかけていく	○	避難訓練は、年2回行って行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	起こる可能性の大きいリスクに対して家族に説明し、事業者側も全力で利用者を守る姿勢を理解していただいている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常にバイタルチェック、異常と判断できた場合は、すみやかに医療機関との連携を図り指示を受ける		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	石屋又は服薬管理を行う。職員全員が利用者一人一人が服薬に関し情報を把握する。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬を利用する時あるか食事や水分、運動量にも気を配る。	○	利用者一人一人の排便リズムを矢張り、朝食に乳製品を毎日摂取する。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	感染予防の観点から起床時、就寝前、食事後の口腔ケアに卓台を置いている。	○	義歯の状態、残歯の状態を知るため、歯科受診をする。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の必要カロリー、一日の必要水分量 } を把握する。	○	脱水症の予防にも一日の必要水分量がとれるよう工夫が必要

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い・うがい等の重視 インフルエンザ予防接種施行する 薬品を使用し汚染場所の清掃	○	季節により流行するものが違っているが共通していることは、取員、利用者共に常に手洗いを重視(外から帰ったらうがい)習慣をつける。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮な食材を使用し 清潔なキッチンでの食事作りをする。	○	継続していく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花々を玄関周囲に植え 気持ちよく来所者を迎えられる よう努力している。	○	今後継続していく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾り、明るく清潔な 空間作りをしている。 カレンダーや利用者の作品を展示 している。	○	今後継続していく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ボールに設置してある、ソファや炬燵 ウットデッキ等で思い思いに利用者 同士の楽しく過ごせるように静かに 見守る。		/

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	本人、家族の希望等を取り入れ 外の景色が良く見える位置に 家具やベットの配置をしている	○	身近に慣れ親しんだ品物が あるだけで安心して生活が出来る ようにしたい。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	健康状態に留意しながら、天候や 気温、湿度のチェックを行う。	○	気温の変化で体調が左右されて しまう為、室温調節には注意を 払う。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室手すり等の設置 危険箇所での事故防止の為、見守 り重視する。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	必要以上の援助は多少控え 出来ることは、見守り、失敗を温く見 守る。自立出来るよう工夫していく。	○	多くの利用者の方が自立を促さ せるよう取組んでいく。
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキを利用し、茶話会を催 したり、夏場はデッキに来て夕涼出来る よう工夫していく。	○	地域の高齢の方々と茶話会等 一緒に行事を進めていきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホーム いわまの郷は、愛宕山を望む恵まれた自然環境の中に所在し、入居者は四季折々の景観を眼前にしながらか、穏やかに暮らしております。

自然の恵みを十分に生活に取り入れ、地域の方々のご指導のもと、野菜づくり、花づくりなど、収穫した喜びを感じながら、楽しく行っております。

又、地元笠間焼にちなみ、陶器製作などにも力を入れております。地域の中においてはボランティア活動(クリーン作戦)などにも参加し、積極的に地域との交流に心掛けております。